

令和4年度 世界史 A シラバス

科目名	世界史 A	単位数	2 単位	対象 部・年次	1・2・3 部 2 年次
使用教材					
教科書等	『新版 世界史 A』(実教出版)		副教材	「世界と日本」	
学習の目標					
1 近現代史を中心とする世界の歴史を、日本の歴史と関連付けながら理解する。 2 人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培う。 3 国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。					
学習計画					
学期	学習内容		学習のねらい		
前期	第 I 部 ユーラシアの諸文明	第 1 章 ユーラシアの諸文明と交流 第 II 部 一体化する世界と日本 第 2 章 一体化に向かう世界と日本	風土、民族、宗教などに着目しながら、ユーラシアを中心に形成された諸地域世界の特徴を把握する。また、諸地域相互の交流に触れ、世界の一体化につながる交流圏の成立を理解する。 ユーラシアの諸海域を結ぶネットワークの成長を把握する。		
	第 III 部 地球社会と日本		16 世紀以降の世界商業の進展と産業革命後の資本主義の確立を中心に、世界の一体化の過程を理解し、ヨーロッパの動向と日本などアジア諸国の対応に着目する。 ユーロッパにおける政治体制の変動について近代国家の成立について、各国別に理解する。 地球規模で一体化した現代世界の特徴と展開過程を理解させ、人類の課題について考察する。		
後期	第 3 章 ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動 第 4 章 現代世界のあゆみ 第 5 章 第二次世界大戦後の世界				
観点別評価及びその配点					
観点	関心意欲態度	思考判断表現	技能	知識理解	
趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を高め、意欲的に取り組んでいる。	近現代史を中心とする世界の歴史を、日本の歴史と関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する文献、絵画、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的現象を追究する方法を身につけている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を、日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	
評価の方法	出席状況・授業態度で評価する。	課題や授業プリント、授業中の発問に対する応答で評価する。	課題や授業プリント、授業中の発問に対する応答で評価する。	定期考査・北高検定で評価する。	
配点 (pt)	200	100	100	600	
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 日常生活の中で起こる様々な社会事象に興味を持ち、その事象の歴史的背景を考える態度を持つこと。 2. 疑問に思ったことを確かめようという態度を持つこと。 3. 学んだことを正確に理解する方法と態度を身につけること。					

令和4年度 日本史 A シラバス

科目名	日本史 A	単位数	2 単位	対象 部・年次	1・2・3 部 3 年次
使用教材					
教科書等	『高等学校 日本史 A 新訂版』(清水書院)	副教材	なし		
学習の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の近現代の歴史の展開を国際環境や地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察する。 ・近代の特色を大観的に捉えるとともに、諸資料を活用して歴史を考察し表現する能力を培う。 ・諸事象の本質をその歴史的な形成・展開の過程の実証的な考察によって捉える歴史的な見方や考え方を身につけ、歴史的な思考力の育成を図る。 ・国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。 					
学習計画					
学期	学習内容			学習のねらい	
前期	第 1 編 近代の日本と世界 第 1 章 国際環境の変化と幕藩体制の動揺 第 2 章 明治維新と近代国家の形成 第 3 章 立憲政体の成立と国際的地位の向上 第 2 編 大戦期の世界と日本 第 1 章 第一次世界大戦と日本			開国から明治時代にかけて政治・経済・社会・文化について学ぶ。特に開国から明治維新によって近代国家が形成される過程を理解し、どのようにわが国が変わっていったのかを考察する。近代国家形成後のわが国の動向を、国際環境を踏まえて理解し、考察する。 諸国家間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近隣諸国との関係に着目し、第一次世界大戦前後の国内外について考察する。そして、諸国家間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近隣諸国との関係に着目し、世界恐慌をひとつの契機とする国際社会の変容を踏まえ、第二次世界大戦前後の国内外の動向を考察する。	
	後期	第 2 章 第二次世界大戦と日本 第 3 編 現代の世界と日本 第 1 章 戦後政治の動向と国際社会 第 2 章 経済の発展と国民生活の変化 第 3 章 現代の日本と世界			第二次世界大戦後の政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、現代の諸課題と近現代の歴史との関連を重視して考察する。復興と経済発展を遂げたわが国が、国際社会に果たした役割を理解し、今後のわが国のすすむべき道について考察する。
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解	
趣旨	我が国の近現代の歴史と現代の諸課題に対する関心を持ち、主体的・意欲的に学習活動をしている。	我が国の近現代の歴史と現代の諸課題に関する歴史的事象を多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に表現する。	我が国の近現代の歴史と現代の諸課題に関する諸資料を見学・収集し、吟味・考察してその成果を適切に年表・地図などに表現する。	我が国の近現代の歴史と現代の諸課題に関する相互の因果関係を公正に読み取る能力と、近現代史を座標軸となる知識を踏まえて大観的に捉えることのできる能力を身につけている。	
評価の方法	授業への出席 授業態度・取組状況	授業プリント 授業中の活動内容 課題等	授業プリント 授業中の活動内容 課題等	定期考査 北高検定	
配点 (pt)	200	100	100	600	
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の授業を大切にし、意欲的に取り組むこと。 2. 授業中の課題や作業をしっかりとこなすこと。 3. 「世界の中の日本」という視点を大事にすること。 					

令和4年度 政治経済 シラバス

科目名	政治経済	単位数	2単位	対象 部・年次	1・2・3部 4年次
使用教材					
教科書等	『最新 政治・経済 新訂版』(実教出版)	副教材	なし		
学習の目標					
広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解するとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。					
学習計画					
学期	学習内容		学習のねらい		
前期	第1編 現代の政治 第1章 現代国家と民主政治 第2章 日本国憲法と基本的人権 第3章 日本の政治制度と政治参加 第4章 現代の国際政治 第5章 日本の平和主義と国際平和		現代の日本の政治及び国際政治の動向について関心をもち、基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解するとともに、民主政治の本質について把握し、政治についての基本的な見方や考え方を身に付ける。		
後期	第2編 現代の経済 第1章 現代の経済社会 第2章 現代の日本経済と福祉の向上 第3章 現代の国際経済 第3編 現代社会の諸課題		現代の日本経済及び世界経済の動向について関心を高め、日本経済のグローバル化をはじめとする経済生活の変化、現代経済の仕組みや機能について理解するとともに、その特質を把握し、経済についての基本的な見方や考え方を身に付ける。 政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会の諸課題を探究する活動を通して、望ましい解決の在り方について考察を深める。なお、教科書の内容のうちいくつかを取り上げて学習する。		
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
趣旨	政治・経済・国際関係について関心を持ち、よりよい社会を目指す態度を身につけている。	政治・経済・国際関係に関わる課題を見出し、広い視野で考察し、公正に判断できている。	政治・経済・国際関係に関わる資料から有用な情報を選択、活用できている。	政治・経済・国際関係に関する基本的な事柄、概念や理論を理解し、その知識を身につけている。	
評価の方法	授業への出席 授業態度・取組状況	授業プリント 授業中の活動 課題等	授業プリント 授業中の活動 課題等	定期考査 北高検定	
配点(pt)	200	100	100	600	
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 普段の授業を大切にしてい欲的に取り組み、ノート、プリント、課題等も確実にこなすこと。 2. 普段のニュースなどにも気を配り、学習内容を生かすこと。 3. 疑問に思ったことを確かめようという態度を持つこと。					

令和4年度 地理 A シラバス

科目名	地理 A	単位数	2 単位	対象 部・年次	1・2 部 3・4 年次選択
使用教材					
教科書等	『高等学校 新地理 A』(帝国書院)		副教材	『新詳高等地図』(帝国書院)	
学習の目標					
現代世界の地理的な諸課題について地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。					
学習計画					
学期	学習内容		学習のねらい		
前期	1 章 地球儀や地図からとらえる現代世界	球面上の世界と地域構成について地表面のとらえ方や世界地図の図法を通して理解する。 国際化の進展の中で、交通・通信によってより一層、結びつきを強める世界について理解する。			
	2 章 人間生活を取り巻く環境	山地・平野・海岸・氷河といった様々な地形の中で人々がどのように適応して生活をしているか理解する。 熱帯・乾燥帯・温帯・寒帯など様々な気候の特徴を理解し、人々がその中でどのような暮らしをしているか理解し、その人々の生活の工夫を考える。			
後期	3 章 世界の諸地域の生活・文化	2章でみた地形・気候の特徴を、3章では中国・韓国・東南アジア・インド・中央アジア・サハラ以南のアフリカ・ヨーロッパ・ロシア・アメリカ・ラテンアメリカ・オーストラリアといった地域の地誌的な側面から理解する。			
	4 章 地球的課題と私たち	地球規模の諸課題である地球温暖化・エネルギー資源問題・人口問題・食糧問題・居住問題などについて、複雑に絡み合う世界の現状とその解決法に向けてのアプローチを考える。			
観点別評価及びその配点					
観点	関心意欲態度	思考判断表現	技能	知識理解	
趣旨	授業に出席したうえで学習内容に関心を示し、意欲的に学習課題に取り組む。	比較、関連付け、総合し、再構成するなどの思考方法を駆使して、社会的事象の意味を考え、それを適切に表現できる。	資料を効果的に活用し、必要な情報を集めて読み取りまとめることができる。	学習内容を正しく理解し、知識が定着している。	
評価の方法	出席状況 授業態度・取組状況	授業プリント 授業中の活動 課題等	授業プリント 授業中の活動 課題等	定期考査	
配点 (pt)	200	100	100	600	
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
<ol style="list-style-type: none"> 1. さまざまな地域の共通点と異なっている点に注目すること。 2. 疑問に思ったことを確かめようという態度を持つこと。 3. 学んだことを正確に理解する方法と態度を身につけること。 					